

平成22年度 地域の“まちづくりびと”養成講座 ～みんなで描こう！住みよいまち～ 第6回 「まちの夢を語ろう ～まちづくり提案発表会～」

日時：平成23年1月29日（土）

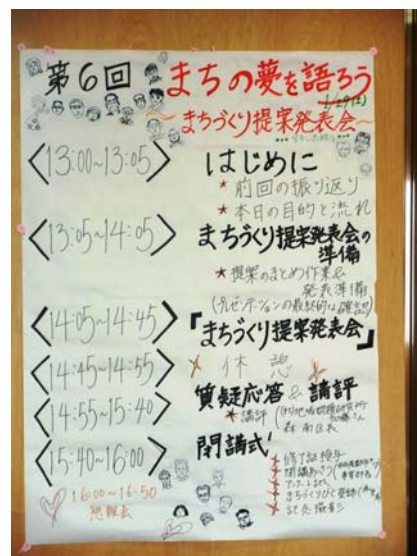
場所：南区 笠寺学区公民館

時間：13時00分～16時00分（懇親会まで）

年末年始をまたいで行った講座「みんなで描こう！住みよいまち」も最終のまちづくり提案発表会です。今までの5回の講座を通して、受講生の皆さんは南区の笠寺地区について調べたり、地域の人の話を聞いたり、実際にまちを歩いたりすることで笠寺のまちの現状を知り、それらを踏まえて「住みよいまち」の姿を3つのテーマごとに分かれたグループで描いてみました。

- ①安全・安心に楽しく歩けるまちづくり・防災まちづくり
- ②多世代交流の支え合いコミュニティによる健康長寿・安心子育てまちづくり
- ③歴史・文化・芸能を活かした賑わいのある観光まちづくり

講座は13時開講ですが、第5回で話し合ったとおり、各グループともに12時頃から集まって発表の準備を行いました。



まちづくり提案発表会の準備

発表会の順番は、各グループの代表者が前に出てきて、ジャンケンで決めました。順番を決めるのもなかなか緊張するところです。早く緊張から開放される1番目が良いのか、他のグループの発表を参考にするために2番目以降が良いのか、迷いますが、③グループ⇒①グループ⇒②グループの順番で発表となりました。

都市センター職員から今日の流れを説明した後、講師の加藤さんから提案発表に当たっての注意点について次のようなお話がありました。

- ①最初に、グループテーマをしっかりと言う。何のまちづくりについてか、丁寧に、できれば見える化（可視化）して。
- ②「四季物語」は、吉永小百合や森本レオが朗読するように上手に読んで、参加者を魅了してほしい。



③「まちづくり活動アイデア検討シート」

まちづくり活動の体系は、PREP法を使ってわかりやすく。

④「一押しまちづくり活動実施プログラム」は、全部読むよりもポイントを説明して印象づける。

⑤一押しまちづくり活動実施プログラムの2年目以降の活動発展に向けての展望を最後に一言加える。

その後は、グループでの最後の打ち合わせです。発表は、できるだけ多くの人に参加できる方法で、各グループ工夫して行ってもらいます。ということで、最終的な仕上げをするグループ、時間を計りながらリハーサルを始めるグループも出てきました。

いよいよ、6回講座の集大成である「提案発表」の時間が近づいてきました。



まちづくり提案発表会

南区長始め見学者及び受講生・スタッフが見守る中、いよいよまちづくり提案発表会が始まりました。

南ホームニュースの方も取材にお越しです。受講生・見学者の方には質問用紙が渡され、各グループの発表に関する質問・感想は、次のセッションで答えてもらいます。

各グループ10分間の持ち時間を使い、はじめに、将来の笠寺のまちの四季の暮らしを描いた「四季物語」を朗読します。目を閉じて聴いてみるとその情景が浮かんでくる、吉永小百合に負けないくらい聴いている参加者を引き付けるような朗読ができるでしょうか？

次に、まちの強みを伸ばし、弱みを克服するための様々なまちづくり活動アイデアを出し合い、体系的に整理した「まちづくり活動アイデア検討シート」について発表します。

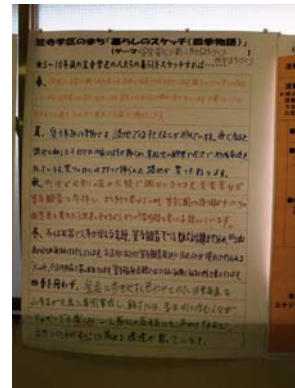
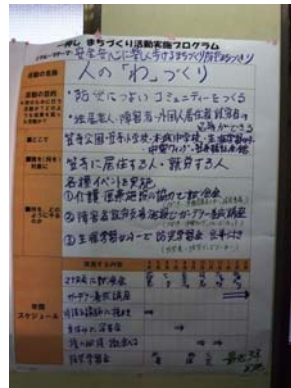
最後に、様々なまちづくり活動アイデアから一つに絞った「一押しまちづくり活動提案の実施プログラム」について発表します。わかりやすく話すことができるでしょうか？



①グループ

テーマ：安全・安心に楽しく歩けるまちづくり・防災まちづくり

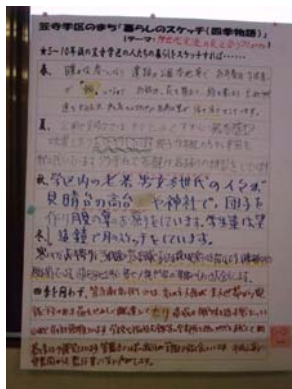
活動の名称：人の「わ」づくり



②グループ

テーマ：多世代交流の支え合いコミュニティによる健康長寿・安心子育てまちづくり

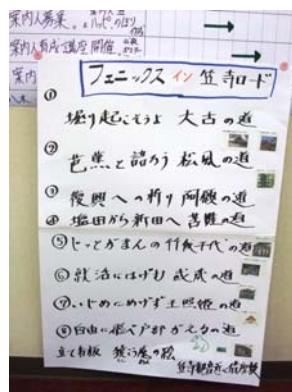
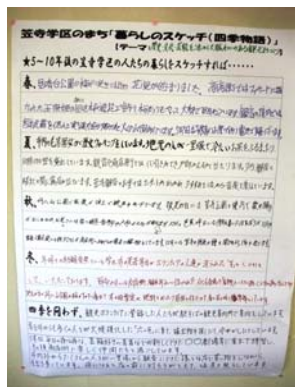
活動の名称：助け「愛」のみちカフェの設置



③グループ

テーマ：歴史・文化・芸能を活かした賑わいのある観光まちづくり

活動の名称：まちかど案内人・基地づくり



質疑応答&講評

受講生や見学者から集まった質問用紙をスタッフでグループごとに整理しました。中には、たくさんの質問・感想が寄せられ、骨子を模造紙に書くのも大変なグループもありました。

模造紙をもとに質疑応答が行われました。



最後に、発表会のまとめとして、講座全体の講師を勤めていただいた加藤栄司さんと南区 森区長より、それぞれ講評を頂き、まちづくり提案発表会は終了しました。

加藤さんからは、6回の講座の振り返りとワークショップを行う時やファシリテーターとして気を付けるポイント、できれば学んだことをどこかで試して欲しいなどのお話がありました。

森区長からは、まちづくりという言葉の意味合いがこれまでの土地区画整理や市街地再開発などのハードなまちづくりから、これからは人・マンパワーによるソフトなまちづくりに変わってきたなどのお話がありました。



閉講式

閉講式では、修了証が名古屋都市センターの川口事業部長より授与されました。

かなりハードスケジュールな講座でしたが、皆さん晴れやかな表情です。

この講座で体験したことをきっかけとして、受講生の皆さんが“まちづくりびと”として地域の「まちづくり」に主体的に取り組んでいただくことを期待します。

最後に、受講生、南区長、スタッフも含めて、懇親会を行いました。年末年始をはさんで2ヶ月に渡った講座もこれで終了です。みなさん、お疲れ様でした。





**** アンケートより、講座全体を通じたご意見・ご感想など ****

- ・ 地域住民の参加者が少なく残念。
- ・ 各回の準備期間がもう少しあると良かったと思いますが、講座の内容はとても有意義だったと思います。
- ・ 流れが知ることからできることまで進み、本当に実現できる気がしたしやってみたいと思った。前の講座より「やり方」「ポイント」がわかった。
- ・ 「今後どうするか」ということについて、もっと教えてほしい。受講生同士がどこまでつながれたかが不明。
- ・ 今回、特に・・・講座当日しか講座の事を考える時間がとれなかったので中途半端な感じになってしまいました。ファシリテータの役割をもっと実感できるようにしたほうが1つの目的として良いのではないかと思います。
- ・ まちづくりに感心のある方の熱意を肌で感じることができました。
- ・ 週1回は大変でした。間が欲しいです。
- ・ グループで話し合うワーキングが数多くあったのですが、全員の意見をいかにまとめるかに苦労しました。結構、話し合うテーマも難しく感じました。
- ・ 各講座の時間を多くとり時間を取り十分理解出来る様、一考して下さい。
- ・ 1回目に出ていない為 PREP 法がまだまだ使えませんが、加藤先生の時折のアドバイスで少しずつ分かってきました。その後の演習はとにかく、やる事で理解、使えるようになると思てやってきました。やって良かったです。
- ・ プログラムがしっかり組まれていて感心した。
- ・ グループで意見を出し合い、まとめる作業は難しかったが、とても勉強になりました。
- ・ 年末・年始で時期がどうかと思った。